

# 百目木地区堤防整備に関する住民説明会(大江町左沢)

～最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト～

- ・大江町町民を対象に、百目木地区堤防整備(堤防法線、基本構造)に関する説明会を開催しました。
- ・堤防整備(堤防法線、基本構造)について、理解を頂きました。

## 開催日時

- 日時: 令和5年10月30日(月)
- 対象: 大江町住民 約50名
- 場所: 町民ふれあいセンター
- 主催: 大江町、山形河川国道事務所

## 説明内容

- ・堤防整備(堤防法線、基本構造)について



開催状況(R5.10.30)

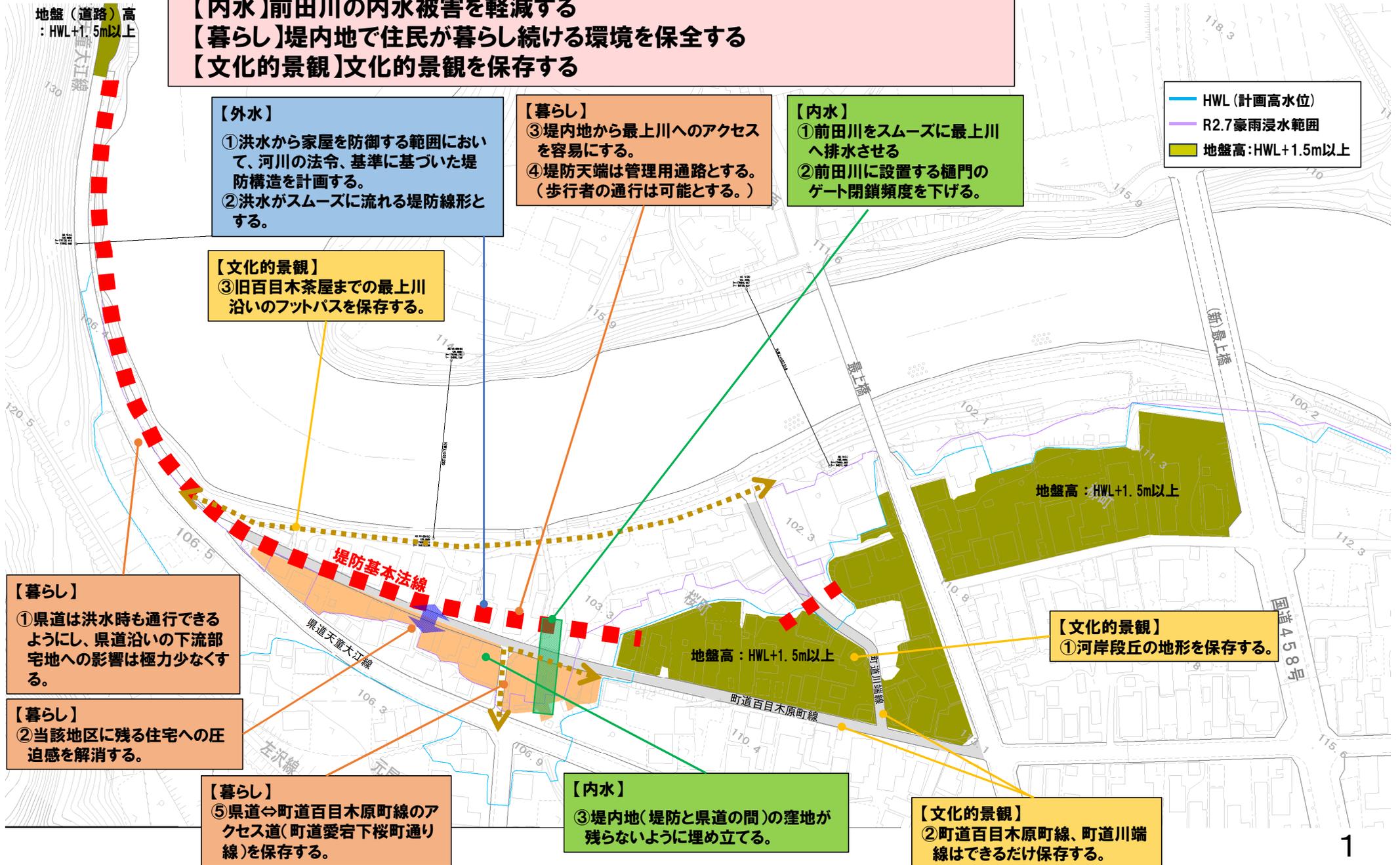
## ★百目木地区堤防整備に関する達成条件

【外水】最上川計画規模(計画高水位相当)の洪水から生命・財産を守る

【内水】前田川の内水被害を軽減する

【暮らし】堤内地で住民が暮らし続ける環境を保全する

【文化的景観】文化的景観を保存する



# 百目木地区堤防整備(与条件に対する検討結果)

## 計画平面図

地盤(道路)高  
: HWL+1.5m以上

【外水】

- ①-1 洪水から家屋を防御する堤防の設置は、計画堤防高以上に取り付け範囲とする。
- ①-2 「河川管理施設等構造令」及び「最上川水系河川整備計画」に基づいた堤防構造とし、土堤原則の考えに基づき土堤構造を基本とする。堤防敷幅が確保できない下流部は特殊堤とする。
- ② 洪水がスムーズに流れるように、できるだけ堤防法線を最上川に沿った滑らかな線形とする。



## 百目木地区事業範囲

【文化的景観】

- ③ 堤防端部を特殊堤構造とし旧百目木茶屋までの最上川沿いのフットパスを保存する。

【内水】

- ① 県道横断部より川側の前田川を直線形状とする。
- ② 前田川に設置する樋門敷高及び水路高を可能な範囲で高くする。

【内水】

- ③ 堤内地の窪地が残らないように、窪地周辺の県道高程まで埋め立てる。

【暮らし】

- ① 洪水時の県道通行を確保できるように、パラベット構造の特殊堤とし、下流部宅地への影響を極力少なくする。

【暮らし】

- ④ 堤防天端は管理用通路とする。(歩行者の通行は可能)

【暮らし】

- ② 残る家屋と堤防の離隔を1.0m以上確保し、川裏を1:2.0の法面とすることで圧迫感を解消する。

【暮らし】

- ③ 最上川へのアクセスが容易となるように土堤とし、堤防川裏法面に坂路・階段を設置する。(階段に関する詳細はかわまち協議会で検討する。)

【暮らし】

- ⑤ 町道愛宕下桜町通り線の往來を保存する。

【文化的景観】

- ① 計画堤防高以上の段丘面は堤防を設置せず保存する。

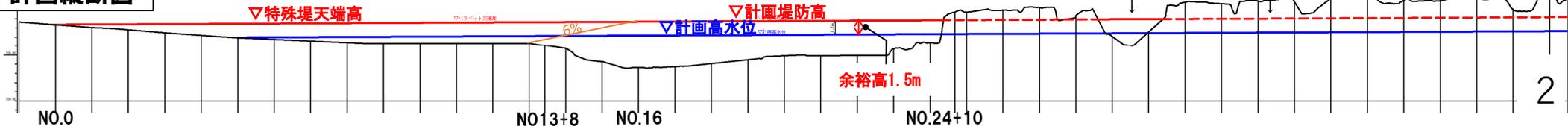
【文化的景観】

- ② 町道川端線の機能・線形を保存できる治水対策を計画する。

【文化的景観】

- ② 町道百目木原町線は町道愛宕下桜町通り線より上流側で機能を保存し、下流側は坂路と天端道路により線形を保存する。

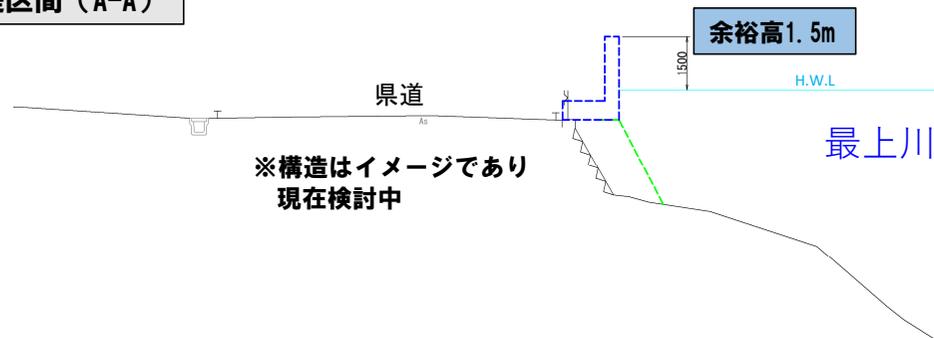
## 計画縦断図



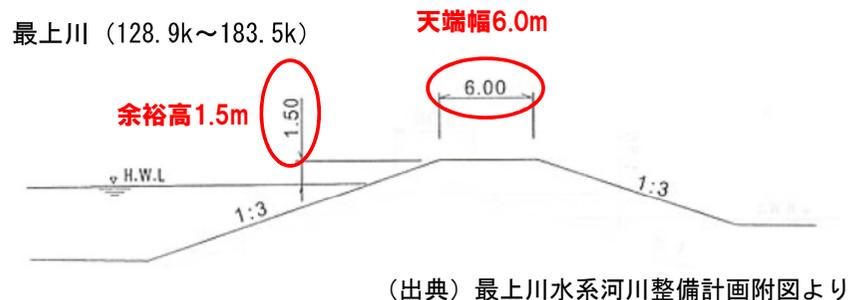
# 百目木地区堤防整備(与条件に対する検討結果)

## 計画横断面図

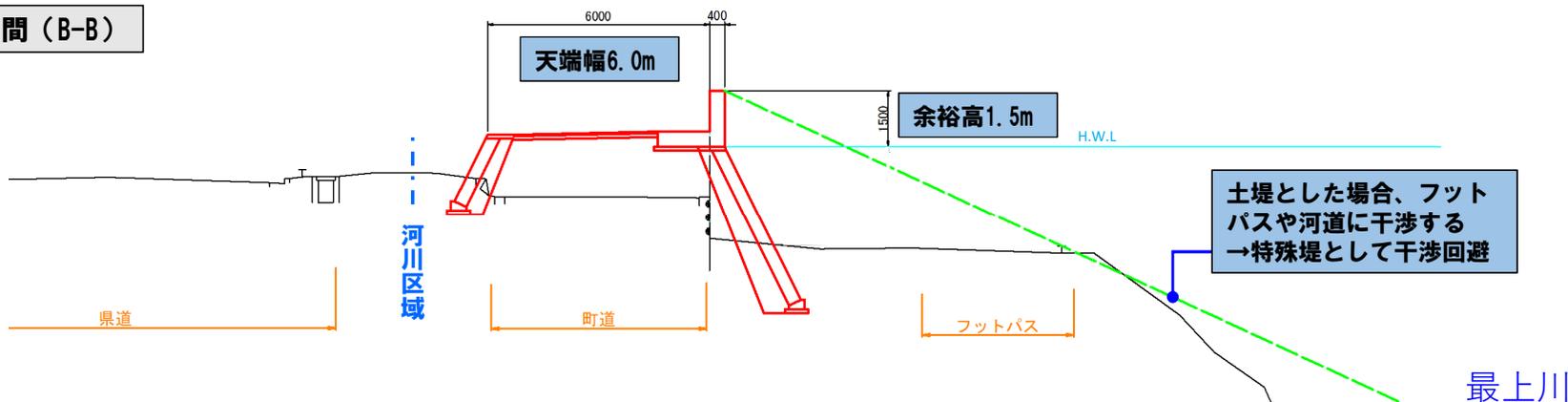
### 県道特殊堤区間 (A-A)



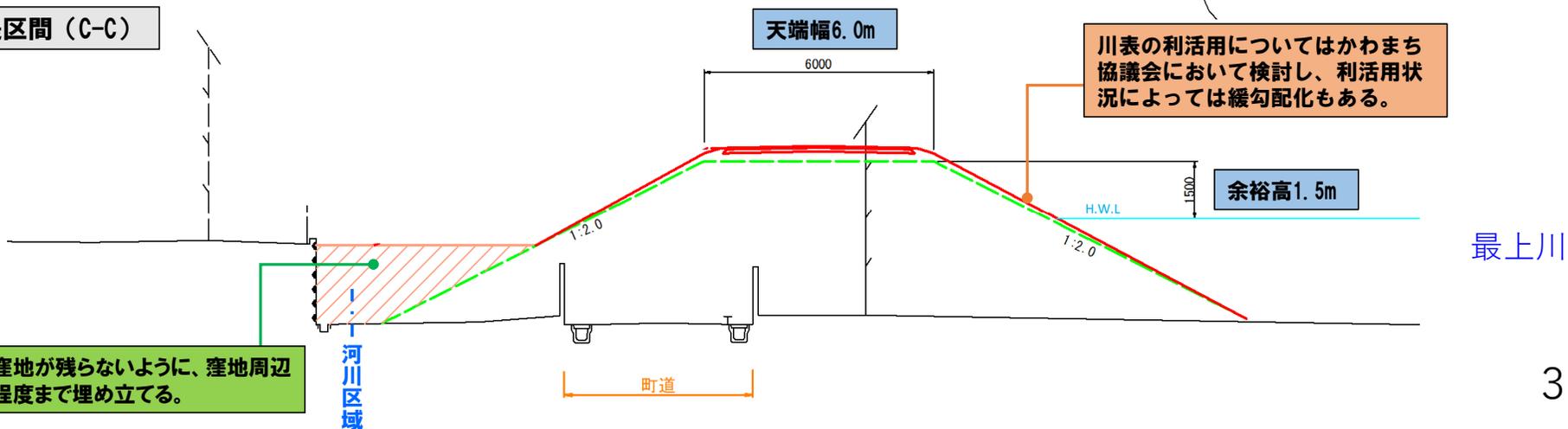
### 【最上川計画断面】



### 特殊堤区間 (B-B)



### 土堤区間 (C-C)



■ 堤内地の窪地が残らないように、窪地周辺の県道高程度まで埋め立てる。

日本一公園からの視点

